

故郷の魅力を胸に島立ち



展示された卒業生の作品と平野さん

片側集落の獅子島屋で、令和元年度獅子島中学校の卒業生4人の力作12点を寄せた『島っ子たちの写真展』が3月17日から開催されました。

これは水産加工グループ島のごちそう(山下城代表)が企画したもので、島を離れる卒業生に故郷の魅力を見つめなおすきっかけを作りたいとの思いで実施されました。

山下代表は「故郷の魅力を再認識し、そこで育った自分への自信に繋げて欲しい。これからは個人がグローバルに繋がりを活躍できる時代。自分の意見や価値観に自信を持って他の人と本気でディスカッションできる人、そして、リーダーシップを発揮できる人が出てくれば」と期待を込めました。写真のテーマは『獅子島の

素晴らしい場面』。卒業生らは2月中旬から下旬にかけて山下代表から借用したカメラを片手に島内のあちこちを散策し、思い思いに風景や人物などを撮影しました。

卒業生の平野央基あつきさんは漁船に乗り、柏栗沿岸の風景を写真に収め「自宅から見える父や祖父の仕事風景が好き。島を離れても、たくさんの人に獅子島の魅力を伝えていきたい」と笑顔で話しました。

同写真展は5月31日まで開催される予定です。

- 開催期間
5月31日(日)まで
(月曜日は定休日)
- 開館時間
午前9時～午後5時
- 入場料 無料



写真展を企画した山下代表



式に臨む卒業生たち

